

幼児教育史学会 第18回大会プログラム

2022年12月10日（土）
東洋英和女学院大学 横浜校（対面開催）

I 日程

9:00	9:30	12:45	14:00	16:30	16:45	18:00
開室	研究発表	昼食	シンポジウム	休憩	総会	

II 開催形式

対面形式で開催します。

III 大会参加費

大会参加費は会員・非会員ともに1,000円、大学院生は無料（受付で学生証を提示してください）。なお、今回は懇親会の開催はいたしません。

IV 研究発表

研究発表時間は、一人あたり30分（発表25分、質疑5分）です。

発表内容は未発表のものに限ります。

発表者が遅刻の場合は、発表資格を失いますので、ご注意ください。

発表用レジュメ・資料等は、当日、配布いたします。

発表者は必要に応じて、当日の画面共有にて発表レジュメやパワーポイント資料を掲示してください。

V 大会事務局

幼児教育史学会 第18回大会実行委員会（委員長：塩崎美穂）

〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町32 東洋英和女学院大学 塩崎美穂 研究室

E-mail：shiozaki.miho☆toyoeiwa.ac.jp（☆を@に置き換えてご使用ください）

電話：045-922-5511（代表）

大会日程

【開室】 9:00～ 諸注意

【開会の挨拶】 9:15

【研究発表】 9:30～12:45

司会： 勝山 吉章（福岡大学） 松島 のり子（お茶の水女子大学）

[1] 9:30～10:00

東京保育問題研究会における「話し合い保育」から「つたえ合い保育」への展開と乳児集団保育実践
～マカレンコの集団主義教育との関連を手掛かりに～

中塚 良子（松山東雲短期大学）

[2] 10:00～10:30

絵本をめぐる発達心理学的意味づけ

: 1960-70年代における佐々木宏子の発達研究を手がかりに

若林 陽子

（東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター特任研究員、

東京大学大学院教育学研究科（院生））

[3] 10:30～11:00

羽仁説子の幼児教育思想に関する一考察

相田 まり（山梨学院短期大学）

11:00～12:45 全体討論

【昼食】 12:45～14:00

【シンポジウム】 14:00～16:30

テーマ： 幼児教育史研究の成果と課題 2 ―幼児教育の現代史にむけて―

提案者： 「戦争と復興の時代の幼児教育」

小玉 亮子（お茶の水女子大学）

「科学と交錯する幼児教育」

福元 真由美（青山学院大学）

「グローバル化と保育」

村知 稔三（青山学院大学）

コメンテーター： 「幼児教育の現代史にむけて」

一見 真理子（お茶の水女子大学）

司会者： 高田 文子（白梅学園大学）

【総会】 16:45～18:00

大会関連企画

大会翌日の2022年12月11日（日）9:30より「海外の幼児教育の研究動向を愉しみながらフォローする会」をオンラインで開催します。Zoom IDとパスワードは別紙にてお伝えします。

内容：佐藤浩代「東洋英和女学校幼稚園師範科における保姆養成教育―女性宣教師の描くキリスト教教育―」 興味のある方は、どなたでもご参加ください。（幹事：塩崎美穂）